

## 集会案内

### 日曜日

礼拝 1:45pm-2:45pm

### 教会住所

c/o Grace Hills Church  
24521 Moulton Pkwy  
Aliso Viejo, CA 92637  
中庭の小さいチャペル

### 地図



### ホームページ

[www.irvinihongokyoikai.org](http://www.irvinihongokyoikai.org)

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: [nobu@occc.org](mailto:nobu@occc.org)

杉村宰牧師

電話 (714) 234-4778

Eメール: [sugimura1950@gmail.com](mailto:sugimura1950@gmail.com)

### ◎石叫■

「主の豊かな憐れみ」

マタイ二〇章にブドウ園のたとえがあり、そこにはどんなに神の憐れみが深く大きいかが記されている。「五時ごろまた出て行くと、まだ立っている人々を見たので、彼らに言った。『なぜ、何もしないで、一日中ここに立っていたのか?』(6)と云うブドウ園の主人の言葉である。今回はそれを紐解いてみよう。

頃はブドウの収穫時期。そこで労働者は仕事を得るために朝6時に市場に出かけて待っていた。しかし、雇われなかったので、9時、12時、3時まで待った。そして陽が傾く夕方の5時まで待ったのだ。しめて十一時間も待っていたことになる。その日は炎天下で、待つことさえも大変な一日だった。

さて、この5時まで待っていた人は、なぜ諦めないで5時まで、日がな待ち続けていたのであるか? 家で妻や子らが自分の帰りを首を長くして待っているのだと思うと、無駄足で帰ることもできずにいたからではあるまいか。

だが、その人が一日待つことができたのは、次の主人の言葉に、その糸口があるようだ。「なぜ、何もしないで、一日中ここに立っていたのか」と言っているように、毎回、来る度に、自分に注がれる主人の豊かな眼差しを知っていたからであり、この人だったらきつと頼れる、と考えたからではなからうか。

これは天国のたとえなので、ブドウ園の主人というのは神である。神は、すべての人に温かな目を注ぐと同時に、ご自身に信頼する者を決して見捨てることはない、というメッセージである。それゆえに主人は夕方の5時にも出かけたのであり、自分を待っている人が一人でもいるのなら、主は黙ってはおかれぬお方だからである。神を待望する者への励ましがここに見えてくる。

やがて給料を支払う時がきた。1日働いた人も、5時から働いた人も同じ給料が支払われたが、「これは不公平だ」とつぶやく者がいた。当然の声である。だが、主人は次のように応えた。「5時まで待っていた人たちが、どんな気持ちでいたのか、分かるか。彼らも働きたかったのだが、叶わなかった。それでも彼らはわたしを信じて一日中待ってくれた。だから私は、5時からの人にも、皆さんと同じ様にして上げたいのだよ。ご自分に信頼する者への豊かな憐れみがそこにある。それはご自分の命を与えたいほどに溢れる愛なのだから。」

Rev. Tsukasa Sugimura

### 【わたしたちの教会の歩み】

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、榊原宣行牧師、加藤伸江姉、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをしております。

### 【ミッション ステートメント】

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。